生ごみが良質肥料に大変身!

用意するもの



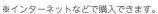




ボカシ









<手順>



生ごみ処理バケツの底に新聞紙を 敷き、ボカシをまく。

※新聞紙は底板の目詰まり予防や発酵液のろ過用です。



生ごみ処理バケツによく水切りした生ごみを入れる。生ごみを入れる たび、ボカシを振りかける。

※悪臭が発生する場合は、ボカシの量が 少ないことが原因と思われます。



上からギュッと押さえたら、生ごみ 処理バケツのフタを締め、密閉する。 ※ビニール手袋などを使うと手が汚れま

※フタが緩いと虫が湧く可能性があります。



底に溜まった発酵液はこまめに抜き出す。

※発酵液は活性液と同等品です。500 ~ 1000 倍に希釈し、肥料として早めに使 用してください。



② \sim 4の作業を繰り返し、生ごみ処理バケツが一杯になったら、フタを密閉し、直射日光の当たらない場所で $1\sim2$ 週間発酵させる。



ぬか漬けのような発酵臭がすれば 成功です。

※表面に生える白カビは、良い菌ですので問題はありません。

☆ポイント☆

- 1. 生ごみは新鮮なうちに処理しましょう。
- 2. 生ごみは極力ぬらさないようにしましょう。
- 3. 生ごみはできるだけ小さく切ってください。
- 4. 底にたまった発酵液はこまめに抜いてください。